



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社 富山銀行

上場取引所 名

コード番号 8365 URL <http://www.toyamabank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 齊藤 栄吉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼総合企画部長 (氏名) 森永 利宏

TEL 0766-21-3535

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,690	0.9	340	△68.1	321	△58.4
24年3月期第3四半期	7,615	△1.3	1,070	59.9	772	35.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 931百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △310百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	5.90	—
24年3月期第3四半期	14.21	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	442,989	22,307	4.7
24年3月期	403,612	21,650	5.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 21,129百万円 24年3月期 20,464百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	2.50	—		
25年3月期(予想)				2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200	△81.6	110	△85.3	2.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	54,444,000 株	24年3月期	54,444,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	106,194 株	24年3月期	103,413 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	54,339,435 株	24年3月期3Q	54,343,017 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【添付資料の目次】

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | ・・・・・・・・ 2 頁 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | ・・・・・・・・ 2   |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | ・・・・・・・・ 2   |

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- |                          |            |
|--------------------------|------------|
| 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | ・・・・・・・・ 2 |
|--------------------------|------------|

## 3. 四半期連結財務諸表

- |                              |            |
|------------------------------|------------|
| (1) 四半期連結貸借対照表               | ・・・・・・・・ 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | ・・・・・・・・ 4 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記            | ・・・・・・・・ 6 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記   | ・・・・・・・・ 6 |

## 4. 平成25年3月期 第3四半期決算短信 説明資料

- |                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| (1) 平成25年3月期第3四半期 損益の状況（単体）   | ・・・・・・・・ 7  |
| (2) 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」（単体） | ・・・・・・・・ 8  |
| (3) 自己資本比率（国内基準）              | ・・・・・・・・ 8  |
| (4) 時価のある有価証券の評価差額（単体）        | ・・・・・・・・ 9  |
| (5) デリバティブ取引（単体）              | ・・・・・・・・ 9  |
| (6) 預金・貸出金等の残高（単体）            | ・・・・・・・・ 10 |

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成24年4月1日～平成24年12月31日）の連結経営成績については、経常収益は有価証券関係収益が増加したこと等から、前年同期比74百万円増加して7,690百万円となり、一方、経常費用は昨年5月の新システム移行に伴い営業経費が増加したこと等から、前年同期比804百万円増加して7,349百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比729百万円減少し、340百万円となり、これに特別利益、特別損失、法人税等を加減した四半期純利益は前年同期比451百万円減少して321百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の連結財政状態については、預金は、金沢信用金庫からの3店舗譲受けに伴う預金の受入や、個人預金が増加したこと等から、前連結会計年度末比38,576百万円増加して当第3四半期連結会計期間末残高は412,522百万円となりました。貸出金は上記に加え、地公体向け融資が増加したこと等から、前連結会計年度末比3,704百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末残高は279,164百万円となりました。また、有価証券は、金利リスクに配慮するとともに安定収益と流動性確保を目的に資金の効率的な運用に努めた結果、前連結会計年度末比35,942百万円増加して当第3四半期連結会計期間末残高は135,271百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月9日公表値から変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当行及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ39百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	10,267	11,116
コールローン及び買入手形	5,500	5,100
買入金銭債権	670	700
有価証券	99,329	135,271
貸出金	275,459	279,164
外国為替	316	325
リース債権及びリース投資資産	3,925	4,011
その他資産	2,826	2,597
有形固定資産	4,835	5,071
無形固定資産	359	875
繰延税金資産	754	328
支払承諾見返	1,848	1,491
貸倒引当金	△2,479	△3,066
資産の部合計	403,612	442,989
<b>負債の部</b>		
預金	373,945	412,522
借入金	3,424	3,751
外国為替	1	2
その他負債	1,315	1,650
賞与引当金	98	—
退職給付引当金	512	547
役員退職慰労引当金	98	3
睡眠預金払戻損失引当金	20	16
偶発損失引当金	54	57
再評価に係る繰延税金負債	642	637
支払承諾	1,848	1,491
負債の部合計	381,961	420,681
<b>純資産の部</b>		
資本金	6,730	6,730
資本剰余金	5,690	5,690
利益剰余金	6,449	6,506
自己株式	△37	△37
株主資本合計	18,832	18,889
その他有価証券評価差額金	541	1,158
土地再評価差額金	1,089	1,081
その他の包括利益累計額合計	1,631	2,239
少数株主持分	1,186	1,177
純資産の部合計	21,650	22,307
負債及び純資産の部合計	403,612	442,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
経常収益	7,615	7,690
資金運用収益	4,718	4,548
(うち貸出金利息)	3,628	3,496
(うち有価証券利息配当金)	1,060	1,021
役務取引等収益	722	781
その他業務収益	1,763	2,141
その他経常収益	409	218
経常費用	6,544	7,349
資金調達費用	308	234
(うち預金利息)	280	210
役務取引等費用	220	232
その他業務費用	1,461	1,416
営業経費	4,022	4,791
その他経常費用	531	674
経常利益	1,070	340
特別利益	—	0
固定資産処分益	—	0
特別損失	6	18
固定資産処分損	6	18
税金等調整前四半期純利益	1,063	321
法人税、住民税及び事業税	17	32
法人税等調整額	222	△30
法人税等合計	240	1
少数株主損益調整前四半期純利益	823	320
少数株主利益又は少数株主損失(△)	51	△1
四半期純利益	772	321

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	823	320
その他の包括利益	△1,134	611
その他有価証券評価差額金	△1,226	611
土地再評価差額金	91	—
四半期包括利益	△310	931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△359	937
少数株主に係る四半期包括利益	49	△6

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 4. 平成25年3月期 第3四半期決算短信 説明資料

## (1) 平成25年3月期第3四半期 損益の状況 (単体)

○コア業務純益は、基幹系システムの更新等に伴う経費の増加により、前年同期比779百万円減少し、286百万円となりました。  
 ○経常利益は、上記コア業務純益の減少を主因に前年同期比659百万円減少し、340百万円となりました。この間、有価証券関係損益 (①+⑥) が改善した一方、与信関係費用 (③+④-⑤) は戻入益となった前年同期より増加しました。  
 ○四半期純利益は、前年同期比448百万円減少し、321百万円となりました。

		平成25年3月期 第3四半期 (A) (9ヵ月間)		平成24年3月期 第3四半期 (B) (9ヵ月間)	平成25年3月期 通期公表値 (12ヵ月間)	
		前年同期比 (A) - (B)				
経常収益	1	6,116	134	5,982		
業務粗利益	2	5,413	378	5,034		
資金利益	3	4,356	△ 95	4,452		
役務取引等利益	4	508	48	460		
その他業務利益	5	548	426	122		
うち国債等債券損益(5勘定戻)①	6	530	430	100		
経費 (除く臨時処理分)	7	4,596	728	3,868		
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前) ②	8	816	△ 349	1,166		
コア業務純益 ②-①	9	286	△ 779	1,065		
一般貸倒引当金繰入額③	10	53	53	—		
業務純益	11	763	△ 402	1,166		
臨時損益	12	△ 422	△ 257	△ 165		
うち不良債権処理額④	13	369	369	—		
うち貸倒引当金戻入益⑤	14	—	△ 352	352		
(貸倒償却引当費用③+④-⑤)	15	422	775	△ 352		
うち株式等関係損益⑥	16	△ 39	448	△ 487		
経常利益	17	340	△ 659	1,000		100
特別損益	18	△ 18	△ 12	△ 6		
税引前四半期純利益	19	322	△ 672	994		
法人税、住民税及び事業税	20	32	20	11		
法人税等調整額	21	△ 31	△ 244	212		
法人税等合計	22	0	△ 223	224		
四半期純利益	23	321	△ 448	770		100

(注) コア業務純益は、「業務純益」-「国債等債券損益(5勘定戻)」+「一般貸倒引当金繰入額」です。

## (2) 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」 (単体)

○金融再生法ベースの開示債権は平成24年9月末比1,038百万円増加し、12,675百万円となりました。これにより総与信残高に占める比率は4.41%と、平成24年9月末と比べ0.26%上昇しております。

	(単位：百万円)		(参考) (単位：百万円)
	平成24年12月末	平成23年12月末	平成24年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,105	4,472	4,195
危険債権	5,599	5,532	4,821
要管理債権	2,969	1,925	2,619
合 計	12,675	11,930	11,636
総与信残高に占める割合	4.41%	4.27%	4.15%

(注) 上記の平成24年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

また、各開示区分の計数は平成24年12月末時点での当行の定める自己査定基準に基づく債務者区分を基に集計しております。

なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

※債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）

危険債権（破綻懸念先の債権）

要管理債権（要注意先のうち、利払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権）

## (3) 自己資本比率 (国内基準)

○平成25年3月末の連結自己資本比率は9.8%程度、連結Tier I比率は9.2%程度と予想しております。

	(参考)	
	平成25年3月末 (予想値)	平成24年9月末 (実績)
連結自己資本比率	9.8 % 程度	10.08 %
連結Tier I比率	9.2 % 程度	9.44 %

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

## (4) 時価のある有価証券の評価差額（単体）

○時価のある有価証券の評価差額は平成24年9月末比3,285百万円増加し、1,726百万円の評価益となりました。

## ○評価差額

	平成24年12月末				平成23年12月末				平成24年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	123,085	1,726	3,309	1,583	88,981	△ 1,243	1,659	2,902	90,012	△ 1,559	1,167	2,726
株式	5,919	1,298	2,098	800	4,157	△ 333	363	697	3,585	△ 689	326	1,015
債券	100,730	242	672	430	66,268	941	1,183	242	70,249	409	736	326
その他	16,434	186	539	352	18,555	△ 1,850	111	1,962	16,178	△ 1,279	104	1,383

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額（償却原価適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。なお、子会社・関連会社株式で時価のあるものは該当ありません。

	平成24年12月末				平成23年12月末				平成24年9月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	10,710	△ 1,265	83	1,348	11,113	△ 1,465	130	1,595	10,776	△ 1,449	99	1,548

## (5) デリバティブ取引（単体）

①金利関連取引 該当ありません。

②通貨関連取引

区分	種類	平成24年12月末			平成23年12月末			平成24年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	金融商品	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	通貨先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店頭	通貨スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	為替予約	61	△0	△0	10	△0	△0	24	△0	△0
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

③株式関連取引 該当ありません。

④債券関連取引 該当ありません。

⑤商品関連取引 該当ありません。

⑥クレジットデリバティブ取引 該当ありません。

## (6) 預金・貸出金等の残高（単体）

○預金は、金沢信用金庫からの3店舗譲受けに伴う預金の受入や、個人預金が増加したこと等から、平成24年9月末比30,446百万円増加し、413,172百万円となりました。また、前年同期末比でも31,249百万円の増加（+8.1%）となりました。

○貸出金は、上記に加え、地公体向け融資が増加したこと等から、平成24年9月末比7,055百万円増加し、281,259百万円となりました。また、前年同期末比でも6,804百万円の増加（+2.4%）となりました。

○預かり資産は、投資信託で9,571百万円（平成24年9月末比373百万円増加）、国債で5,693百万円（平成24年9月末比316百万円増加）となりました。

## ①預金・貸出金の残高

		(単位：百万円)		(参考)	(単位：百万円)
		平成24年12月末	平成23年12月末	平成24年9月末	
預	金	413,172	381,923	382,726	
	うち個人預金	331,243	301,320	301,832	
貸	出金	281,259	274,454	274,203	
	うち個人ローン	52,153	52,870	50,788	

## ②預かり資産残高

		(単位：百万円)		(参考)	(単位：百万円)
		平成24年12月末	平成23年12月末	平成24年9月末	
投	資	9,571	9,186	9,198	
信	託				
国	債	5,693	5,902	5,376	